

梅津 忠兵衛 ものがたり

野村 功

これは江戸時代から 出羽の国（現在の山形 秋田の両県）に伝わる妖怪伝説です。

江戸時代梅津忠兵衛という力が強く勇気のある若侍がいました。夜勤番だった忠兵衛が城へ通ずる坂を登っていくと両手に子供を抱いた女が、忠兵衛を待っていたかのように声をかけてきました。

「あの、梅津さまわたくし、今晚たいへんこまっております。ほんのしばらくのあいだこの子を抱いてはくさいませんか。」

忠兵衛は不思議に思いながらも黙って子供をうけとりました。

「どうか私が戻ってくるまで抱いていてくださいます。すぐもどりますから。」

「よし、承知いたしました。」

忠兵衛がこたえるとそのまま足音もたてずとぶように坂をくだると、女の姿はたちまち見えなくなりました。

その子供はやっと生まれたばかりの、かわいらしい赤ん坊でおとなしくじっとしています。と、そのうちその赤ん坊が急にむくむくと大きくなったような気がしました。

「おかしいな、なぜいま急に大きくなったようにおもえたのだろうか？」と思ったとたん身うちがゾーとさむくなったのです。大きくなったのではなく目方が重くなったのです。初めは3キログラム位だったのに段々増えて、その3倍そして4倍、5倍、30キロ、60キロ、忠兵衛はそのときはじめて自分が怪しいものにたぶらかされたことをしりました。先ほどの女は人間ではなかった。この子供も人間ではないのだ、だが自分は約束してしまった、 武士たるもの一度した約束はまもらねばならない。――

そうしている間にも赤ん坊はどんどん重くなってきます。70キロ、80キロ、100キロ、150キロ、体中の筋肉がぶるぶるふるえだしました。

忠兵衛はたまらず

「なむあみだぶつ | なむあみだぶつ | なむあみだぶつ |」

と念仏をとなえはじめました。すると、そのとたん、いままでの重みがきゅうに両手からすつとなくなったのです。忠兵衛はぼかんとその場に立ち尽しました。肝心の赤ん坊はいつどこへ行ったのか、腕の中からきえています。

と、そのとき、さっきのあやしい女がさっきと同じ速さで息をはずませながら、忠兵衛のそばへかけよってきました。そのとき、忠兵衛は女がたいそう美しいのにきがつきました。女は額に玉のようなあせをうかべて、かいがいしくたすきをかけていました。そして厳かな声でいいました。

「親切な梅津よ。お前は、私のために大変な働きをしてくれた。私こそはこの土地の氏神であるぞ。こよい、氏子の一人が難産のため助けを求めてきたが、わたしひとりの力では手にあまり、おまえの大力と勇気をかりたのじゃ。

おまえにあずけたあの赤子は、じつはまだはの胎内から生まれない子供だったのじゃ。あの赤子がしだいに重くなったときは、難産でくるしんでいたときだったのじゃ。おまえが、たえがたくおもったときは母親の命があぶないときで、一族のものたちがなみだにくれていたときのじゃ。ちょうど、そのときおまえは念仏を三度唱えたが、それが私の力のたすけとなり、無事に赤子がうまれたのじゃ。

お前がたすけてくれたお礼にわたしはじゅうぶんにむくいるであろう。侍にとって力ほど役に立つものはない。そこで、これから後はお前はもちろんのこと、お前の子や孫子のだいにいたるまで私の力でよにもまれな強力をさずけてとらせよう。」

こう約束すると、氏神の姿はかき消すように見えなくなっていました。

梅津忠兵衛は不思議なことがあるものだ、といぶかりながらその夜はそのまま城へいきました。そして、夜が明けて、役目がおわったとき、いつものように朝日をおがむために、顔や手をあらいきよめました。

ところが普段使っているてぬぐいをしぼろうとすると、おどろいたことに、まだ丈夫なその布がビリビリとちぎれてしまったのです。びっくりして、その千切れた手ぬぐいをひとつにしてもう一度絞って見ました。すると、これまたぬれた紙でもねじるように、ぷつぷつときれてしまいました。さらに四つに切れた布を重ねて絞りましたが、結果はおなじことでした。

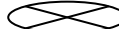
それから、銅や鉄でできた品物を手にとると、握ったとたんにとれもこれも、まるで土くれのようにくずれてしまうのです。そこで、忠兵衛は始めて氏神の約束がはたされ、自分が強力ものになったことをしりました。

さて、家へ帰ると、忠兵衛は、夕べどこかで赤ん坊の生まれた家はなかったかと、家族のものにたずねました。すると、ちょうど自分が不思議な目に出会った同じ時刻に、実際に子供がうまれたことがわかりました。しかも、そのお産のようすが、氏神から聞いたことと、すっかりおなじであったこともわかりました。

忠兵衛の子供たちは、一人残らず、父の強力をうけつぎ強力一族としてその地方で有名だったそうです。

9・10月 教室開催日

	川口市民パートナーステーション（火曜日）					川口市栄町公民館（金曜日）				
10月	5日	12日	19日	26日	—	1日	8日	15日	22日	29日
11月	2日	9日	16日	23日	30日	5日	12日	19日	26日	—

 教室は休みです

スタッフ会議 10月22, 26日

8時からスタッフ会議を行います。
スタッフは必ず出席しましょう。（欠席するときは、代表か副代表に声をかけてください。）
生徒もできるだけ出席しましょう。（スタッフは出席してもらえるようこか毛をしましょう。）

スタッフ会議議題

25周年で出された基調報告をもとに今後の川口自主夜間中学の在り方を話し合います。
スタッフは必ず出席、生徒も多数参加してください。

25周年集会

「行政の皆さん！学びたいと思う願う切実な思いに耳を傾けてください！」というテーマのもと開かれます。
2部は、皆さんの国に伝わる歌や遊びを紹介してください。
日時 10月24日（日）午後1時15分から
スタッフ・手伝える人は12時30分集合
場所 パートナーステーション
会費 500円
詳しくはチラシを見てください。

公立の夜間中学を見学しませんか

入学説明会に合わせて、公立の夜間中学を見学することができます。
東京スカイツリーの真下にある学校です。
日時 10月16日（土）
行く人がいましたら、お知らせください。12時に川口改札口に集まって一緒に行きましょう。
場所 墨田区立文化中学校
内容 映画「こんばんわ」
シンポジウム（夜間中学での学びから僕が得たもの）
チラシを見てください。